

令和 7 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

神岡振興事務所



目 次

宇宙物理学研究に係る支援とアウトリーチの推進	3
「旧深山邸市民ミュージアム（仮称）」利活用の推進	4
国の制度を活用した地域活性化人材の登用〈共通項目〉	5

拡充 宇宙物理学研究に係る支援とアウトリーチの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,676	諸収入 1,650	負担金 2,000
	ふるさと納税 1,026	旅費 288
(前年度予算 3,935)		その他 388

2 事業背景・目的

現在、東京大学宇宙線研究所によりHK（ハイパーカミオカンデ）の建設が進められています。令和7年度には空洞掘削の完了が見込まれており、今後は、神岡町に多くの研究者や学生が滞在・居住して、光電子増倍管設置作業に従事することが予定されています。

一方で、神岡町はHKをはじめとした研究施設が建設される世界的な宇宙物理学研究の拠点であるにもかかわらず、「宇宙や物理は難しい」という心理的ハードル等により、市民が詳細を知らず、市民の誇りとして醸成し辛い環境にあることが課題となっています。

このことから、様々なチャンネルを通じた宇宙に関する学びの機会の提供や、市内外に向けてPR活動の実施により、宇宙物理学研究施設及び神岡町の認知度と魅力の向上を図るとともに、シビックプライドの醸成を図ります。

3 事業概要

①【拡充】宇宙物理学のアウトリーチ活動の推進（170千円）

宇宙や物理は難しいものといった心理的なハードルを取り除くため、緩やかな雰囲気の中で気軽に参加し、宇宙物理学を知ることができる市民カレッジ講座「喫茶室かぐら」を古川町内で開催します。また、神岡中学校が実践するFIELD学の基礎講座に、令和6年度に開催した山と宇宙と希望の学校in神岡で扱った「希望学」の内容を取り入れ、子どもたちの様々なことに希望を持って挑戦する意識を育みます。

②【改善】東京大学宇宙線研究所研究観測施設の一般公開の開催（2,000千円）

市民の知的探求心を満たすため、東京大学宇宙線研究所による研究施設（スーパーカミオカンデおよび重力波観測装置KAGRA）の一般公開に合わせ、それぞれの研究内容や成果に関する講演会を開催します。

③【継続】HK建設に係る支援（506千円）

HK建設推進のため、期成同盟会による関係機関への要望活動等を継続して実施します。また、HK光電子増倍管設置作業に伴い、新たに神岡町内に居住する研究者や学生の生活環境の充実化を図るため、地元業者と連携して宿泊や飲食環境を提供します。

担当課：神岡振興事務所市民振興課（☎0578-82-2253） 予算書：P.59

【拡充】 「旧深山邸市民ミュージアム（仮称）」 利活用の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
500	ふるさと納税	500 備品購入費 455 需用費 45

（前年度予算 1,579）

2 事業背景・目的

市では、かつて遊郭であった若松家（深山邸）を譲り受け、管理・利活用を行っています。以前の利用方法は、旧遊郭の歴史に触れる街歩きガイドによる施設案内がメインでしたが、近年は、新たな利活用を模索する中で、施設の見学会や地元のボランティア団体との共同による市民ギャラリーを開催するなど、市民の交流・語り・体験の場としての利活用を図っています。

令和7年度では、「旧深山邸市民ミュージアム（仮称）」として、市民ギャラリーや企画展の開催をより充実させるための備品整備や、施設管理のための整備を実施します。

また、期間限定となる市民ギャラリーや企画展だけではなく、市民団体や各種機関による活動の場として提供を促すとともに、施設の開館日数を増やすことで市民が気軽に訪れ、利用できる環境を整え、さらなる利用促進を図ります。



旧深山邸利活用の推進

3 事業概要

市民の交流・語り・体験の場である「旧深山邸市民ミュージアム（仮称）」の利活用を推進するため、施設管理や利用環境を充実させます。

- ・市民ギャラリーや企画展を開催するための展示用パネルやテーブル等の備品を整備します。
- ・室内の防カビ対策や室温上昇対策として換気を行う際の防虫・防犯上の観点から、1階中庭側2ヶ所に固定可能な網戸を設置します。

拡充 国の制度を活用した地域活性化人材の登用<共通項目>

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
61,551	一般財源	委託料 47,134
		負担金 8,000
(前年度予算 34,949)		人件費 6,417

2 事業背景・目的

人口減少先進地である飛騨市では、様々な分野で人口減少や高齢化に起因する人材不足が深刻となっており、これは市役所においても例外ではありません。

こうしたことから市では、特別交付税による国からの財政支援のある人材活用制度を導入し、基礎的条件の厳しい集落の支援や、市の様々なプロジェクトを推進するための中心人物として活躍いただく人材を積極的に受け入れ、それぞれの活動を通じた地域力の維持、強化を図っています。

令和7年度は地域おこし協力隊や集落支援員の報酬単価について、国に準拠した引き上げを実施することで、優秀な人材を確保し、地域活性化の成果を高め、持続可能な地域づくりにつなげます。

3 事業概要

①【拡充】集落支援員の配置 (16,884千円)

地域特有の生活課題への対応や住民ニーズの把握、集落と市役所をスムーズに繋ぐ架け橋役として、地域の実情に詳しい人材を配置します。また、1名当たりの報酬単価を国に準拠した4,850千円とします (令和6年度まで：4,400千円)

- (1) 古川町畦畑地区へ1名配置 (継続)
- (2) 河合地区へ1名配置 (継続)
- (3) 宮川地区へ1名配置 (継続)
- (4) 関係人口に関する各種支援を行う「関係人口コーディネーター」を登用 (新規)

②【拡充】地域おこし協力隊の登用 (30,250千円)

1名当たりの報酬単価を国に準拠した5,500千円とします。

(令和6年度まで：4,400千円)

- (1) 河合町の伝統工芸品である山中和紙を後世に残すため、紙漉き職人のサポートを行うとともに、山中和紙の魅力発信、販路拡大を目指す地域おこし協力隊を登用します。(継続)

(任期：令和6年5月～令和9年4月まで)

- (2) 奥飛騨山之村牧場に活動の主軸を置きながら、地域資源を活用した山之村地域の交流人口拡大と、子どもたちや移住コンシェルジュとの連携による山之村地域への移住拡大を目指す地域おこし協力隊を登用します。(継続)

(任期：令和6年7月～令和9年6月まで)

- (3) 地域資源である薬草を活用した市民の健康意識向上を目的とした薬草のまちづくりの更なる普及や、今後の新規事業開発をリーダーとして進める地域おこし協力隊を登用します。(継続)

(任期：令和6年10月～令和9年9月まで)

- (4) 市の情報発信力の強化と職員負担を軽減する持続可能な広報業務を目指し、広報業務広報プロモーションを行う地域おこし協力隊を新たに登用します。(新規)

(任期：令和7年度より3年間)

- (5) 市独自の人材育成プログラム「飛騨市作業療法によるまちづくり研究所」の仕組みを新たに導入し、学校をはじめとする作業療法士の確保と育成体制を確立し、全国から優秀な作業療法士の集まるまちづくりを目指しながら、学校作業療法の効果検証によるエビデンスの確立等学校作業療法室の更なる充実を図ります。(新規)

(任期：令和7年度より2年間)

- (6) 市独自の人材育成プログラム「飛騨市広葉樹アカデミー(仮称)」を設立し、飛騨市の広葉樹サプライチェーンに関連する事業者と連携した学びの場を提供することで、地域おこし協力隊制度を活用した広葉樹人材を育成し、現在生じている流通課題の解決を図ります。(新規)

(任期：令和7年度より2年間)

③【継続】地域プロジェクトマネージャーの登用(6,417千円)

自治体のプロジェクトを推進するにあたり、関係者間を橋渡ししつつ、当該プロジェクトをマネジメントできるブリッジ人材を会計年度任用職員として任用する国の制度を活用し、飛騨市の交流人口の拡大と市外からの移住定住者の拡大を目指した戦略的なシティプロモーションを担う「地域プロジェクトマネージャー」を登用します。

(任期：令和6年5月より最長3年間)

④【新規】地域活性化企業人の登用(8,000千円)

地域の活性化を図るため三大都市圏に所在する企業の社員を自治体に派遣し、地域課題に対して専門的な知見を活かしながら即戦力人材として従事する国の制度を活用し、派遣者1名を新たに受入れ、「ねんりんピック岐阜2025」飛騨市サッカー交流大会の企画運営やクアオルト健康ウォーキングの事業推進を図ります。

(任用期間：令和7年4月～令和9年3月まで)

担当課 :	①-4)、③-1)	企画部ふるさと応援課	(☎0577-62-8904)	予算書 : P. 47
	②-4)	企画部総合政策課	(☎0577-73-6558)	予算書 : P. 52
	②-5)	市民福祉部総合福祉課	(☎0577-73-7483)	予算書 : P. 71
	①-1)	農林部農業振興課	(☎0577-73-7466)	予算書 : P. 100
	②-2)、②-6)	農林部林業振興課	(☎0577-62-8905)	予算書 : P. 106
	②-3)	商工観光部まちづくり観光課	(☎0577-73-7463)	予算書 : P. 112
	①-2)、②-1)	河合振興事務所地域振興課	(☎0577-65-2221)	予算書 : P. 58
	①-3)	宮川振興事務所地域振興課	(☎0577-63-2311)	予算書 : P. 58
	②-2)	神岡振興事務所建設農林課	(☎0578-82-2254)	予算書 : P. 58
	④-1)	教育委員会スポーツ振興課	(☎0578-62-8030)	予算書 : P. 142